

第1回検討委員会における主な意見について（まとめ）

資料1

意見の取りまとめ 及び 留意点	委員・アドバイザーからのご意見（第1回検討委員会）
<p>【駅全体】</p> <p><u>1. 駅利用者に分かりやすく利用しやすい案内表示</u></p> <p>○現状の案内表示は分かりにくい。</p> <p>○高架下開発にあたっては、駅利用者目線に立って案内表示の充実や視認性の確保を図るべきではないか。</p> <p>○駅構内の案内表示の充実にあたっては、高齢者や障害者の視点にも配慮すべきではないか。</p> <p>⇒【留意点】条例等に基づく「景観への一定の配慮」が必要。</p>	<p>○ 駅利用者にとって分かりやすい、利用しやすい施設となる工夫が必要ではないか。利用者目線に立った案内表示という観点で進めていかないといけない。</p> <p>○ 駅内のどこに何の施設があるか分かりづらい。案内板やサインの問題。工事完成後のイメージもつきにくい。</p> <p>○ 現状の富山駅は、いろいろな案内部分が非常に弱い。駅周辺施設も含めた全体が分かるようなマップを作って情報提供できればいいのではないか。</p> <p>○ 駅利用者のための案内板がきちんと整備されていればよい。</p> <p>○ 待ち合わせのランドマークとなるものがない。（渋谷のハチ公像のようなもの）</p> <p>○ 駅利用者の声を調査する意味も含めて、駅に案内役を立たせればよい。</p> <p>○ とやマルシェの東西自由通路に面する壁を透明として、東部エリアを見通せるようにすればいいのではないか。</p> <hr/> <p>○ 身体障害や高齢者の方たちが駅に降りた際に、分かりやすく安全であるということが大切。例えば、構内のエリアを色分けして、床にタイル等で表示すれば非常に分かりやすいのではないか。</p> <p>○ 高齢者は、どこに行ってもまず列車を降りたらトイレを探す。はじめて富山駅を利用した際には、トイレの案内板がちょっと分かりにくい印象があった。</p> <p>○ お客さまの目線、消費者の目線を第一に、まずトイレを分かりやすくということは絶対的に必要条項。コンビニの観光案内所などということもある。</p> <hr/> <p>○ 今、駅は工事中だが、完成すると素晴らしいものになるのではないかと楽しみ。駅利用者向けに完成図のようなものがあれば、完成すれば素晴らしい駅になると知らしめることができる。</p> <p>○ 富山駅については、開業1年半が経過し、駐車場も良くなり、案内板がなかったところにも掲出されている。今後、とても良いものが完成していくのではないか。</p>

第1回検討委員会における主な意見について（まとめ）

資料1

意見の取りまとめ 及び 留意点	委員・アドバイザーからのご意見（第1回検討委員会）
<p>2. 「富山らしさ」の創出</p> <p>○待ち合わせ場所にもなるような富山らしいシンボルとなるようなものを設けてはどうか。</p> <p>⇒【留意点】駅構内や駅前広場における設置上の制約について検討が必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 福井には恐竜があり、金沢には鼓門があるが、富山駅は県都の駅とすれば、富山らしさという意味で少し寂しいという思いがある。これから造る新しい部分には、やはり「富山らしくて素敵な空間」ができればいい。 ○ 富山駅に降り立った際に、富山だというインパクトが少ない。富山で一番いいのはドラえもんだと思うが、大きい銅像を駅前に建てれば、日本中から親子連れが来るのではないか。誰もが頭に浮かぶインパクトのある集合場所を作らないといけない。 ○ 富山は売薬さんという印象を持つので、売薬さんが行李を担いだようなものをマスコットの置いて、富山の宣伝の一つにしたらよいのではないか。
<p>○富山駅は路面電車が特徴であり、これを活かすような施設の検討を進めてはどうか</p> <p>⇒【留意点】利用者の利便性の観点からも検討が必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 富山らしさの1つとしては、南北の路面電車の接続事業で新幹線の駅を降りて、路面電車が走っている。これは富山にしかない、世界中でも他にはないような景色になる。 ○ トランジット・ライティング・ウォールというきれいなガラスの壁を在来線の方にも作る。ガラスのまち富山が路面電車で非常に便利に生活できるまちなのだということをこれからもPRしていきたい。 ○ 西部エリアに路面電車の待合スペースを確実に入れていただきたい。
<p>3. 県都の玄関口としての案内所のあり方</p> <p>○県都の玄関口にふさわしい、県下全域を案内できる機能が必要ではないか。</p> <p>○現状の案内所を統合するなど、利用者にとって効率的で利便性の高い案内所を整備すべきではないか。</p> <p>⇒【留意点】観光案内所等の関係者間の調整が必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 案内所では、富山市に限らず、県内市町村の情報を得られるようにすべき。県内の市町村のパンフレットや情報がすぐに取りれるようにする。県の玄関口という位置づけとして、総合案内所・観光案内所でうまく役割分担してほしい。 ○ 駅の案内所について、富山駅は県都の玄関口であり、県全体をしっかりと案内できるような体制で運営していくことが必要ではないか。 ○ 現在、富山駅の案内所は、観光案内所、訪日旅行センター、総合案内所と3つに分かれている。高架下の整備後は、駅施設案内や観光など何でも相談できるワンストップサービスの窓口を実現したい。

第1回検討委員会における主な意見について（まとめ）

資料1

意見の取りまとめ 及び 留意点	委員・アドバイザーからのご意見（第1回検討委員会）
<p>【開発エリア】</p> <p>4. 観光客と地元客のバランス</p> <p>○観光客だけではなく、通勤・通学や住民など地元客にも配慮した開発やサービスを検討すべきではないか。</p> <p>○西部エリアについては、地元客向けに特化した開発を検討してはどうか。</p> <p>⇒【留意点】観光客と地元客のニーズや既存施設も含めた空間的な特性を踏まえた検討が必要。</p>	<p>○ 地元客の利用が多ければ、観光客も来てくれる。</p> <p>○ 観光客向けのお土産のみならず、地元客向けのおつまみやお惣菜を売るのもよい。地元の方が欲するものは意外と観光客も欲する。地元の方が滞留している日常の中に、観光客＝非日常が溶け込むというコンセプトがよいのではないか。</p> <p>○ 駅を考えるとときには、どうしても観光客を考えがちだが、富山駅は通勤客に加え高校生の利用が大変多いので、高校生に何か利用させてやれる方法がないか。</p> <p>○ あいの風鉄道の定期券を提示することで割引サービスを受けられるようにしてはどうか。県民鉄道であるため、県民に還元するという視点が大事。</p> <p>○ クラルテが主に地元の方向けであることを考えると、それに連なる西部エリアも地元の方向けのディリーユースゾーンとすればいいのではないか。</p>
<p>5. 開発対象エリアの利用方法</p> <p>○富山の特色や個性を前面に出した施設整備や店舗構成を検討すべきではないか。</p> <p>○既存の新幹線高架下施設との統一感を考慮した開発を検討すべきではないか。</p> <p>⇒【留意点】富山らしい個性を発揮させながらも既存施設との統一感にも配慮が必要。</p>	<p>○ 富山の薬、黒部の名水、高岡銅器など富山の特色を大いに出して賑わいなり、あるいは利用者の利便を図るということが非常に大切ではないか。</p> <p>○ 富山駅には、伝統工芸品が非常に少なく、特に高岡銅器はほとんどない。</p> <p>○ あいの風高架下は、何気なく迷い込んでしまうというようなごちゃごちゃした感じがあってもよい。</p> <p>○ 今度の駅高架下には、例えば、シネマ食堂街を再現したり、角打ち酒場を置いたりするなど、あえてレイドバックしたような作り方を「とやマルシェ」と連動しつつ、やっていくのも面白いのではないか。</p> <p>○ 特に観光客は飲食店を求めている。駅というのは、観光客の動線から見ると、昔のデパートのレストランのような、何でも揃っているものが求められる。観光客が抱いている富山のイメージ、食のイメージを満たしてくれる店が必要なのではないか。</p> <p>○ 事業スキーム等がどうであっても、最終的には利用者の目線で店舗などの施設が統一された中で展開されるということが最も求められるべき。</p> <p>○ 東部エリアについては、「とやマルシェ」とのある程度の統一感が必要。「とやマルシェ」との統一感を持たせながら、富山らしさを出していくという形で取り組んではどうか。</p>

第1回検討委員会における主な意見について（まとめ）

資料1

意見の取りまとめ 及び 留意点	委員・アドバイザーからのご意見（第1回検討委員会）
<p>5. 開発対象エリアの利用方法(続き)</p> <p>○利用者の利便性も考慮しながら、富山のイメージに合った食材を提供する飲食店が必要ではないか。</p> <p>⇒【留意点】周辺飲食店との関係性の検討が必要(棲分け、回遊性の向上等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 飲食店に関して、どこにでもあるようなレストランを造る必要はない。富山らしい新鮮な魚、新鮮な食べ物、新鮮な煮物など、庶民的な店舗があれば、県外のお客さんにはかえって喜ばれるのではないかと。 ○ 食事の閉店時間がとても早い。人員など制約もあるのだろうが、終電近くの新幹線で降りて、駅で何か食べていきたいと思っても、何も食べられない。 ○ 東部エリアを「うまいもの横丁」にして、富山を食べ尽くすゾーンとしてはどうか。
<p>○空き時間や待ち時間を有効に活用できるカフェ、休憩スペース等が必要ではないか。</p> <p>⇒【留意点】既存周辺カフェとの関係性の検討が必要(棲分け等)。</p> <p>休憩スペースについては、限られた空間での、公益性や採算のバランスを考慮した検討が必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 収益は生まないが、少し空いた時間に仕事ができる、ちょっと電車を待つときに勉強ができる、本が読めるというような場所があるといい。 ○ あいの風とやま鉄道富山駅高架下開発に関しては、待ち時間等、20～30分ほどで利用できる、コーヒーカウンターや軽食店、本屋、手短に買える手土産的店舗などの設置を望んでいる人が多い。 ○ カフェのような、待ち合わせ場所、時間つぶしに使える場所をつくっていただきたい。 ○ カフェについては、ちょっとした商談や待ち合わせの場所として、非常にニーズは高いのではないかと。ただし収益を考慮すると、ものすごく広いスペースをカフェに割くということはなかなか難しいのではないかと。 ○ 新幹線利用者にはビジネス客が多いが、ビジネス客にはビジネス客なりのニーズがある。ビジネスセンターのような施設も必要ではないかと。 ○ 富山駅で仕事をするビジネスマン向けに、Wi-Fi完備のラウンジがあると非常にいいのではないかと。
<p>6. 県内資本（県内企業）の出店</p> <p>○地元企業の出店のために、何らかの支援策が必要ではないか。</p> <p>⇒【留意点】他の商業施設との自由競争を過度に妨げないよう留意する必要。また、支援主体の検討が必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 極力、富山県関連企業にテナントとして入ってほしい。 ○ とやマルシェのテナントのうち、何割ぐらいが県外資本であるのか教えてほしい。 ⇒とやマルシェの県外資本テナント＝県外12区画／全体36区画（33.3%） ○ 地元企業の出店のため、行政からの賃料補助など、別のポケットから賃料が入ってくる工夫も必要ではないかと。

第1回検討委員会における主な意見について（まとめ）

資料1

意見の取りまとめ 及び 留意点	委員・アドバイザーからのご意見（第1回検討委員会）
<p>7. 県内市町村等の関わり方</p> <p>○富山市も含めた県内市町村等による活用策について検討すべきではないか。 ⇒【留意点】市町村等の意向を踏まえた調整が必要。</p>	<p>○ 観光客は「富山県」に来ているという意識であるので、別に富山市にこだわる必要はない。高架下には、県内の他市町村の企業やお店等もあるべき。</p> <p>○ 15市町村で協力ということになると、何か考えていかないといけない。</p> <p>○ 県下15市町村それぞれがブースを出店し、売上を競わせる。売上順に格付けし、売上上位ほど出店面積を広く取らせる。（売上を見て、定期的に入れ替え）</p>
<p>8. 今後の施設運営や事業収支</p> <p>○運営にあたっては、既存の近隣商業施設との連携が必要ではないか。 ⇒【留意点】連携内容等について検討が必要。（イベント共催、施設の共用による効率化など）</p>	<p>○ 駅全体の施設の横の連携を図る組織が必要。現在は個々の施設がそれぞれ活動しているため、客の回遊性も生まれない。</p> <p>○ 荷さばき場やごみ置き場、保安施設などの共用など、「とやマルシェ」との連携が必要ではないか。</p>
<p>○開発にあたっては、将来の事業収支にも十分に留意すべきではないか。 ⇒【留意点】収支や採算性のとれた開発を検討する必要。</p>	<p>○ 経営的な面で赤字になってはならない。適正な賃料収入が確保されるような形で進めてほしい。富山らしさの創出と経営収支とのバランスも考慮すべき。</p> <p>○ 今回の高架下開発にあたっては、出資をしている地元の団体という観点からも、あいの風鉄道には、収支が赤字にならないよう、しっかり儲けていただくという点も念頭に置いていただきたい。</p> <p>○ 新幹線高架下において、現在設定されている賃料が周辺等に比べてどの程度の水準になっているのか、教えてほしい。 ⇒周辺商業施設ヒアリングの結果、各施設とも「テナント料金額や水準については非開示」との回答</p>
<p>9. その他のご意見</p>	<p>○ 子育て世代の目線からこの施設の整備を考えていただきたい。</p> <p>○ 富山には薬のメーカーもたくさんあり、例えば仁丹のような簡単なものを開発し、富山のお土産を買ってきたということで帰っても利用されるようなものがあればいい。</p> <p>○ 富山県伝統工芸品フェスタを富山駅前広場で開催していただければありがたい。</p>